



令和7年度 第2回 みんなで支える森林づくり上田地域会議

資 料

地域会議・県民会議の振り返り	3
令和7年度森林税活用事業の予算(県全体)	21
上田地域の森林税活用事業実績及び計画	
1 再造林の加速化	24
2 市町村と連携した森林整備支援	29
3 県民協働による里山整備・利用(開かれた里山)	34
その他(R7におけるPR)	39

令和8年(2026年)2月17日(火)
上田地域振興局林務課

本日の会議の流れ

1 森林づくり県民税について

- (1) 地域会議・県民会議の振り返り
- (2) 森林税活用事業の予算(見込)



(3) 上田地域の森林税活用事業実績及び計画

- ① 再造林の加速化
- ② 市町村と連携した森林整備支援
- ③ 県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）



(4) その他（R7におけるPR：関連イベントの開催状況）

令和7年度 第1回地域会議・第3回県民会議の振り返り

令和7年度 第1回地域会議の結果

○県(局)ホームページへの議事録掲載
(右のとおり)

【アドレス】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/josho/josho-rimmu/kannai/gyomu/rinmuka.html>

○林務部への要約版の提出（次頁以降）



令和7年度第1回地域会議 開催結果（意見等）【林務部に提出】

1 地域会議で挙げられた意見等

(1) 地域または全県の課題として検討を要する事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
<p>【CO₂の固定と木質バイオマス発電】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 建材に使えない木材がバイオマス発電に回されることで、CO₂排出につながる可能性がある。木質バイオマスの利用はカーボンニュートラルとされているが、実際はCO₂排出があり、ニュートラルになるまでには何十年もかかる。	<ul style="list-style-type: none">・ 木質バイオマスは、地中から掘り出す化石燃料とは異なり、吸収したCO₂を放出するだけなので「カーボンニュートラル」だと考えている。
<p>【CO₂吸収量の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 苗木は吸収力が弱く、伐採によって短期的にはCO₂排出が増える可能性がある。・ 2050年のゼロカーボン目標に向けて、森林吸収量の計算や政策の妥当性を精査する仕組みが必要。・ ゼロカーボンの目的に対して、現行の森林施策が本当に合っているか疑問。継続的な議論が必要。	<ul style="list-style-type: none">・ 現在の県方針は、CO₂のストック量ではなく吸収速度に基づいている。若い森林は吸収速度が高く、伐採→植栽のサイクルでその期間を維持する。・ 意見を今後の参考にする。
<p>【再造林の目標値】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 再造林加速化事業の達成率が低いのは、目標設定が短期的な伐採対応なのか、長期的な森林経営を見据えたものなのか、見直しの必要性も含めて説明すべきでは。・ 省コスト化の推進は必要だが、それだけで目標達成は難しいのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・ 目標の見直しについては、現時点で本庁からの方針は示されていないが、今後必要に応じて検討する。

令和7年度第1回地域会議 開催結果（意見等）【林務部に提出】

1 地域会議で挙げられた意見等

(1) 地域または全県の課題として検討を要する事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
<p>【獣害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害対策として苗木保護を計画していないが、今後は何らかの対策を検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとの被害状況に応じて計画したが、必要に応じて対策を行う。
<p>【開かれた里山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やりたいこと」から使える事業を逆引きできるような情報提供の仕方があると便利。 ・ 現状の税事業はハードルが高く、利用しづらいため、もっと身近で使いやすい制度を追加してほしい。 ・ 税事業は、特定地域だけでなく、継続したい団体に対して少額でも支援できる新たな選択肢を検討してほしい。 ・ 自己負担があることで物を大事に使う意識も生まれるが、財源がない団体には負担が大きい。補助額が高くなると自己負担も増えるため、現場の声を反映した制度設計が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を今後の参考にする。
<p>【森林税のPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金の用途を住民にわかりやすく伝えるため、上田駅前の木の整備に森林税が使われていることを看板やプレートで表示するような工夫が必要。 	<p>(建設部所管であることを説明)</p>

令和7年度第1回地域会議 開催結果（意見等）【林務部に提出】

（2）県民会議事務局の見解を求められている事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
<p>【第2回県民会議：森林税による造林県単独補助の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林税を活用して県単独で再造林支援を行う方針とのことだが、導入されると国が「長野県は独自財源で対応可能」と判断し、国庫補助がさらに減る可能性がある。 ・木材需要が減少傾向にある中で、皆伐→再造林による木材生産が市場ニーズに合っているか疑問。 ・公費（森林税）を投入する以上、経済性や市場動向を踏まえた精査の仕組みが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議の議事録が公開前であることから、議論の詳細は不明。 ・方針は本庁からの通知待ちであるため、情報が入り次第、次回会議や別の機会でも共有する予定。
<p>【県独自の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林税は国の林政方針に沿った補助的な使い方が基本だが、県独自の財源であるため、もっとオリジナリティのある施策があってもよい。 ・地域や樹種（例：カラマツ）によっては、より多く植えたいなどのニーズがある。地域の実情や要望を反映した県独自の柔軟な森林税の使い方を検討してほしい。 ・国の方針が温暖化・花粉・低コスト造林に偏っている中で、長野県独自の取組を支援する方向性が望ましい。 	<p>（地域会議では回答せず）</p>

（3）その他、構成員から挙げられた意見等

【開かれた里山の新規箇所】

- ・地区の取組は、学校・PTA・地域団体などを巻き込んでおり、継続性が高い。
- ・活動は小学生とのつながりがあり、教育的な価値も高い。
- ・継続的な活動のためには、子どもや先生方が関心を持ち、何度も訪れたくなるような魅力づくりが必要。
- ・開かれた里山整備事業の和地区について、上田地域会議として了承する。

2 その他特筆事項（地域会議事務局の意見、構成員からの肯定的な意見等）

- ・現在は獣害対策など「暮らしを守る」施策はあるが、住み続けたいと思えるような「住みごたえ」の向上に関する議論が足りていない。森林税を活用した里山整備などの取組が進む中で、山に住む人たちが将来に希望を持てるような支援のあり方も検討してほしい。また、こうした問題意識の受け皿となるような制度や議論の場が必要。

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

1 日時：第3回 令和7年12月23日（火）

2 場所：長野市（県林業センタービル）

3 会議事項

(1) 森林づくり指針の各指標について

(2) その他

- ・ 令和7年度みんなで支える森林づくり地域会議の開催状況について
- ・ 森林づくり県民税活用事業検証・評価シート（R6事業）（案）
- ・ みんなで支える森林づくり県民会議構成員の改選について
- ・ 長野県内の建築物等における県産材利用方針の見直し等について

4 公開状況

- ・ 資料等：県ホームページで公開済み
- ・ 議事録：作成中

【県ホームページアドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/kenminzei/kenminkai/gi07_3.html

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

The screenshot shows the Nagano Prefecture website with a search bar and navigation menu. The main heading is 'みんなで支える森林づくり県民会議' (Let's Support Forest Creation Public Meeting). Below it, there is a section for '会議開催状況' (Meeting Status) with a list of past meetings for Heisei 26 and Reiwa 7. The Reiwa 7 section highlights the 3rd meeting on December 23, 2025.

長野県
Nagano Prefecture

防災・安全 | 暮らし・環境 | 健康・医療・福祉 | 教育・子育て | 仕事・産業・物産

Google 検索

ホーム > 仕事・産業・物産 > 森林・林業 > 長野県森林づくり県民会議 (通称: 森民議) > みんなで支える森林づくり県民会議

更新日: 2025年12月24日

みんなで支える森林づくり県民会議

長野県森林づくり推進法を活用して行う事業について、効果的かつ効果的な取り組みを推進するため、その内容等について調査をいただくとともに、事業成果の検証等を行う「みんなで支える森林づくり県民会議」を設置しています。

会議開催状況

会議の内容(資料、議事録等)は各回をクリックしてください

令和7年度

- 第1回会議 令和7年5月22日(木曜日) 長野県林業センター5階会議室
- 第2回会議 令和7年9月5日(金曜日)
 - 現地調査: 佐久市・立科町
 - 会議: 佐久合同庁舎 講堂
- 第3回会議 令和7年12月23日(火曜日) 長野県林業センター5階会議室

令和6年度

- 第1回会議 令和6年9月5日(木曜日) 長野県林業センター5階会議室

This summary page provides details for the 3rd meeting. It lists the date and time as December 23, 2025 (Tuesday) from 10:00 to 11:30 AM. The location is the 5th floor meeting room of the Nagano Prefecture Forestry Center. A list of attendees is provided, including names and their participation status (e.g., online, absent).

令和7年度第3回みんなで支える森林づくり県民会議

開催日時

令和7年12月23日(火曜日) 10時00分から11時30分まで

開催場所

長野県林業センター5階 会議室

出席者

【構成員】(敬称略)

- 秋葉 芳江
- 新井 あゆみ
- 伊藤 祐三(欠席)
- 上原 貴夫
- 大久保 憲一(オンライン)
- 楳村 浩
- 清水 愛希代(オンライン)
- 高見澤 秀茂
- 寺嶋 孝太郎
- 中村 誠
- 平真 裕子
- 堀越 倫世(欠席)
- 三木 敬明(オンライン)
- 村松 敬伸

【県ホームページアドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/kenminzei/kenminkaigi07_3.html

(1) 資料「森林づくり指針の各指標について」の要約

○趣旨

県では、森林づくり指針の各指標の検証を行い、現時点の分析結果を取りまとめたので、検証の内容についてご意見をいただきたい。

○指針と森林税の関係

・森林づくり県民税活用事業を含め、県の森林・林業施策の方向性を「森林づくり指針」で定めており、各項目における目標値を設定し取り組んでいる。（次ページ参照）

・森林税を活用した事業については、毎年度の県民会議や地域会議などでご意見をいただきながら事業の振返り・改善を行っているものの、「森林づくり指針」に対する毎年度の検証を行っていない。



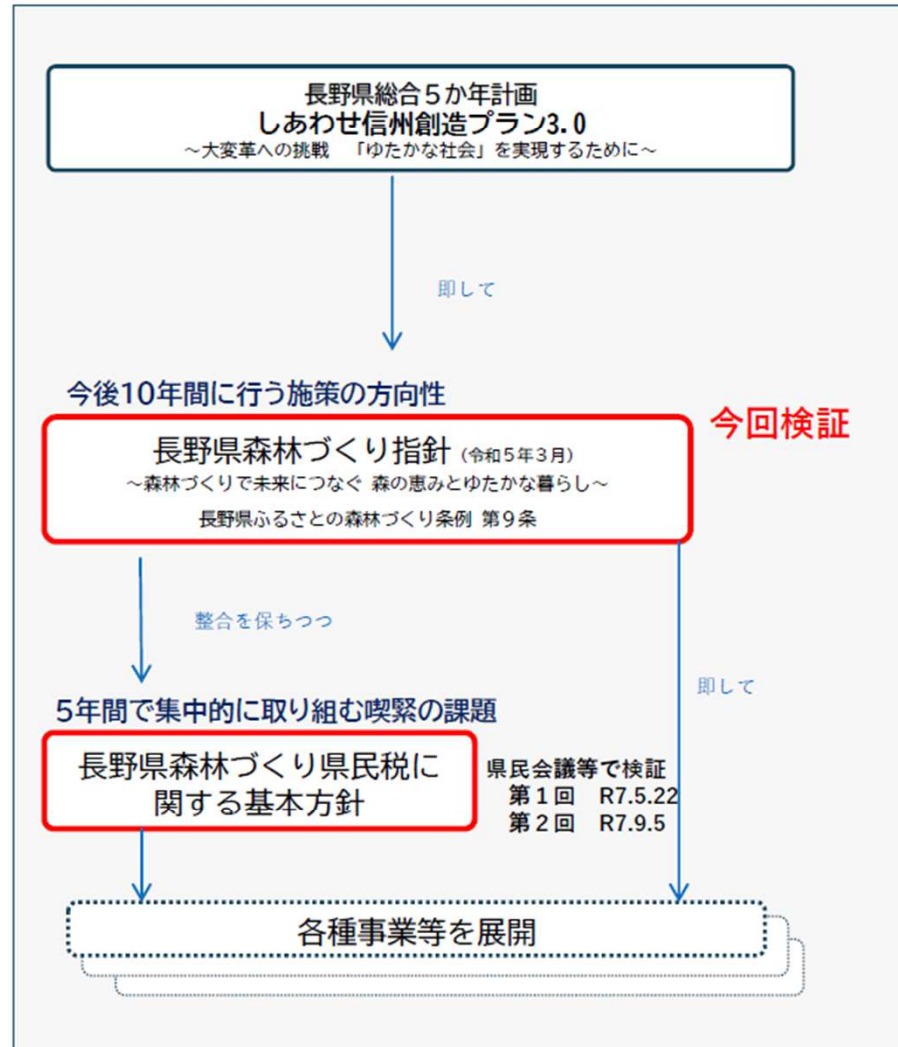
森林づくり指針の指標は、森林税の活用の方向性にも大きくかわることから、森林税活用事業と併せて、指標の評価・検証を行っていききたい。

【次頁以降は県民会議資料より転載】

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

「森林づくり指針」と「森林づくり県民税」の関わり

森林・林業の施策体系



令和9年度の目標値(抜粋)

森林づくり指針		森林税に関する基本方針	
指標	数値	指標	数値
森林整備面積 (間伐等)	9,650ha/年	防災・減災の里山の整備(間伐)	1,600ha/5年
造林面積	1,000ha/年	造林面積 ※治山、松くい 関連除く	900ha/年
森林サービス産業 に取り組む地域PJ数	50PJ/5年	指針と同様	50PJ/5年
県民が広く親しめる 里山の数	50箇所/5年	指針と同様	50箇所/5年
多様な林業に関わる 新規就業者数	40人/年	指針と同様	40人/年

森林づくり指針は今後10年間に行う施策の方向性を定めているのに対し、森林税は、森林づくり指針に記載の内容と整合を保ちつつ、5年間で集中的に取り組む喫緊の課題の解決のため、必要な施策(市町村森林整備支援事業等)を加えて取り組んでいる。

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

森林づくり指針（R5.3策定）の各種指標の検証について

森林政策課

1 趣旨

第4期森林づくり県民税の主要事業である「再造林」の進捗が低調。森林税は、用途、利用額を県民の皆様と約束した上で実施しており、再造林が計画と乖離している現状は、県民との約束が果たされておらず、危機的な状況と言える。

そのため、森林税基本方針の元となる森林づくり指針の指標を、設定当初から振り返り、低調な要因や課題を徹底的に分析し、課題解決に向けた対応を措置する。

2 課題

- 森林づくり指針で定めている各指標について、**進捗管理や課題の深堀が不十分**
- 目指すべき姿である指針に対し、**職員や事業者の意識が希薄な部分がある**

3 検証の方向性

【検証の想定効果】

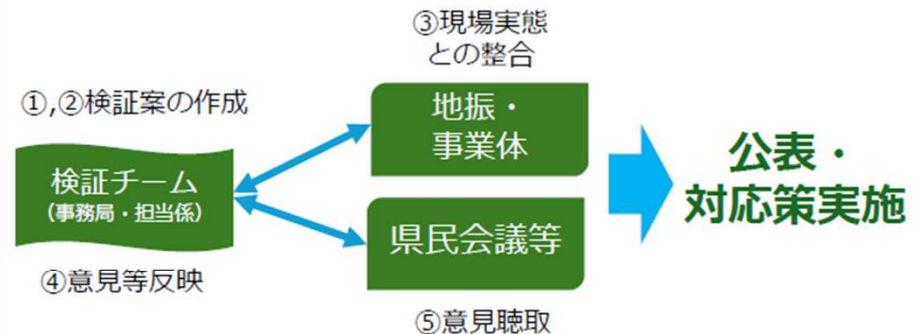
- **各指標の進捗状況の見える化**
・・・現在の立ち位置の確認、認識の共有
- **林務部職員の意識統一**
・・・職員全員が同じ目標に向かって取り組む
- **予算事業のメリハリ**
・・・真に必要な事業（箇所）に必要な予算を措置

【スケジュール】

- 10月中 県検証結果案策定・現場との認識合わせ
- 11月中旬 検証結果案確定
- 12月中旬 森林審議会・県民会議での意見聴取 ⇒ 公表

【検証の体制】

- ・林務部内に、次長をトップとする「検証チーム」を設置し検証を進める
- ・現場の声や有識者の意見も取り入れ検証を深堀



【検証手順】

- 検証 ① 指標設定時の条件や計画値と、現状の数値を地域別に整理・比較
- 検証 ② 計画値と現状の「ずれ」の要因を定量的に検証
- 検証 ③ 事業者や地域振興局等の現場の声と、検討した要因の認識合わせ
- 検証 ④ 要因から必要な対応策を検討
- 検証 ⑤ 検証結果を県民会議等での説明・発信、対応策を実施

(主な検証の視点)

- ✓ **内部要因** (指標設定の適切性、県職員リソース不足、予算配分など自力で改善が可能な要因)
- ✓ **外部要因** (自然災害、人件費高騰、世界的な経済状況変化など自力で改善が不可能な要因)

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

森林づくり指針の各種指標の検証について（概要）

1 森林税関連指標について

森林税関連指標は全5指標、R6年度実績で目標値の**達成率9割未満の指標は3指標**

▲ 造林面積（R6計画 520ha ⇔ 実績 406ha 達成率 78%）

- ・労働力、苗木生産状況等から検証した結果、**目標値の設定は適正**と言える
- ・**造林面積は佐久地域を中心に増加傾向**。ベースとなる**国予算配分を間伐から再造林へさらに積極配分**することで、**R8年度は目標値 840ha を達成する見込み**
⇒再造林への優先配分により、再造林要望に応えることが可能であることから、第2回県民会議時に検討していた**国庫補助金を代替える形で**の森林税の活用（県単独補助の導入）は見送ることとしたい。

▲ 森林整備面積（R6計画 9,500ha ⇔ 実績 5,671ha 達成率 60%） ※うち、防災・減災の里山の整備（間伐）に森林税を活用(R6実績 177ha)

- ・本指標は、間伐（枝打ち、除伐等の保育作業を含む）、下刈り、造林作業全てを含めた面積。
- ・指標作成時は**公共造林予算 27 億円を前提**にしたが、実際は **21 億円程度で推移**するとともに、物価高騰により標準経費が 10%程度の上昇
- ・主伐・再造林を優先実施する中での**間伐必要箇所の再定義が必要**（継続して検討）

▲ 多様な林業に関わる新規就業者数（R6計画 40人 ⇔ 実績 25地域 達成率 63%）

- ・本指標は、新規就業者数のうち、小規模事業者等に雇用された人と創業により新たに参入した人の総数。本指標は低調であるものの、**新規就業者数は、林業への転職者等への支援金給付などの手厚い施策の展開により順調に推移**。労働力の確保という本来の目的は**順調**と言える。

○ 県民が親しめる里山の数（R6計画 10地域 ⇔ 実績 13地域 達成率 130%）

- ・シンポジウムの開催や事例集の作成により、他地域間の横展開が図られ**順調に推移**

○ 森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数（R6計画 10プロジェクト ⇔ 実績 10プロジェクト 達成率 100%）

- ・森林セラピー基地等への環境整備の支援や人材育成研修等により、**意欲的に森林サービス産業に取り組む地域の掘り起こしができている**

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

2 検証結果

森林づくり指針全 17 指標のうち、R6 年度実績で目標値の達成率 9 割未満の指標は 7 指標。これについて、進捗が低位な要因や指標の妥当性等について検証を行い、結果は次のとおり。

◆ 目標達成が困難（9 割未満）な指標の状況（R6） ※ 7 指標以外の 9 指標については、9 割以上の達成率であり、概ね順調に進捗

区分	指標	状況	指標の見直し
① 目標設定自体が 適当でなかった もの	森林の集積・集約率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所有権等や境界の明確化拡大を目指し設定したが、効果測定を「適正に管理している森林」として経営計画策定森林等により判断（計画促進を目標） ・ 補助金受給のために策定することが一般的である同計画の計画期間（5年）終了後に、補助金インセンティブが働かない中、継続を求めることは現実的に困難 ・ 経営が厳しい森林は計画策定自体が難しいことや、所有権等が明確化している大規模森林に計画策定を求める実益が少ない 	要
② 関係者との目標 共有に課題があ ったもの（目標 達成に向け行動 が不足）	造林面積 【森林税】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域毎の目標値が示されておらず、地域において進捗状況の判断ができないため、地域振興局や事業者が目標値に向けて、具体的にどのような対応をすればよいか不明瞭 ・ 地域バランスを考慮した結果、取組が進んでいる地域に必要な予算をつけきれていない ・ ベースとなる国予算配分を間伐から再造林へさらに積極配分することで、R8年度は目標値 840ha を達成する見込み 	否
	二ホンジカの捕獲数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県目標値に対し、32 市町村の目標値が県計画を下回る数値であり認識に差がある 	否
	地域林業の中核的な指導者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業士として認定されるメリットがない 	否

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

③ 社会経済情勢の変化等により投資（金・人・モノ）が不足するもの	森林整備面積（間伐、下刈り、造林面積の計）【一部森林税】	<ul style="list-style-type: none"> ・指標作成時は公共造林予算 27 億円を前提にしたが、実際は 21 億円程度で推移 ・物価高騰により標準経費が 10%程度上昇 ・森林整備面積に含まれる下刈面積について、低コスト化を踏まえた面積計上に要修正 ・主伐・再造林を優先実施する中での間伐必要箇所の再定義が必要 	要
	製材品出荷量	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅着工戸数や床面積が減少 ・県産材を多く活用する地域工務店のシェアが大手ハウスメーカーに奪われている 	要
	多様な林業に関わる新規就業者数 【森林税】	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者等に雇用された人と創業により新たに参入した人の総数であるため、移住、転職者数等の多寡に影響される 	否

3 指針全体を通じて（今後の方向性）

- ✓ **指標検討時**：振興局や事業者との意識合わせや現場の実情の確認が弱い
⇒（対応）本庁主導による指標数値を再設定するのではなく、一定期間の検討期間を設け、地域毎の数値の積み上げにより目標値を再設定する
- ✓ **指標設定時**：地域別の目標・目安を示しておらず、振興局や事業者が自分ごと化できない
⇒（対応）本庁で目安を示したうえで、局別の目標値を作成し、各地域の進捗状況の見える化を図る。
- ✓ **指標設定後**：事業評価や手法見直しに関する手続きがない（森林税事業は県民会議で検証）
⇒（対応）森林税事業と合わせて、県民会議や森林審議会の場合を活用して毎年森林づくり指針の検証・評価を行う

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

森林づくり指針の各指標の検証

検証結果（森林整備面積）

社会経済情勢等の変化に影響

◆ R6 実績5,671ha / 計画9,500ha (達成率60%)

		設定時		実績値				見込	
		R3等	R4	R5	R6	R7	R8(要望)	R9	
県内計	計画	12,675	12,019	9,500	9,500	9,500	9,600	9,650	
	実績	8,205	7,320	5,818	5,671	5,288	7,182		
	達成率	65%	61%	61%	60%	56%	75%	0%	
佐久	計画	1,694	1,602	1,347	1,428	1,508	1,614	1,707	
	実績	811	581	742	665	887	1,356		
	達成率	48%	36%	55%	47%	59%	84%	0%	
上田	計画	1,718	1,635	1,237	1,240	1,243	1,260	1,270	
	実績	1,021	896	1,201	1,232	871	1,275		
	達成率	59%	55%	97%	99%	70%	101%	0%	
諏訪	計画	625	591	443	423	404	386	368	
	実績	686	639	316	239	388	357		
	達成率	110%	108%	71%	56%	96%	92%	0%	
上伊那	計画	1,413	1,366	1,160	1,199	1,237	1,293	1,340	
	実績	849	759	704	499	503	812		
	達成率	60%	56%	61%	42%	41%	63%	0%	
南信州	計画	1,989	1,877	1,582	1,592	1,603	1,631	1,650	
	実績	1,503	1,500	773	756	741	1,019		
	達成率	76%	80%	49%	47%	46%	62%	0%	
木曾	計画	919	869	677	653	629	609	586	
	実績	451	414	192	198	238	314		
	達成率	49%	48%	28%	30%	38%	52%	0%	
松本	計画	1,896	1,778	1,288	1,246	1,205	1,171	1,133	
	実績	1,701	1,256	1,013	756	850	941		
	達成率	90%	71%	79%	61%	71%	80%	0%	
北アルプス	計画	654	630	447	429	412	396	379	
	実績	356	318	279	671	276	267		
	達成率	54%	50%	62%	156%	67%	67%	0%	
長野	計画	1,355	1,271	954	909	865	824	782	
	実績	682	747	470	539	408	520		
	達成率	50%	59%	49%	59%	47%	63%	0%	
北信	計画	421	401	365	380	395	416	434	
	実績	146	209	128	117	128	320		
	達成率	35%	52%	35%	31%	32%	77%	0%	

※計画値（青字）は本庁で設定した目安値であり、地域実態を考慮したものではない

指標内容

8,205ha(R3実績) → 9,650ha (R9) → 9,300ha (R14)

・重要指標である「造林面積」と別に、県内全体の森林整備事業の規模感を把握するため、間伐等面積のほか、造林面積と下刈面積を加えた面積

設定時の根拠

- ・人工林の齢級構成と実績推移から試算
- ・国庫補助金を含め森林整備予算27.7億円を毎年度確保を前提
- ・地域振興局別の計画値は作成していない

R6計画値と実績値の乖離要因

- ・主に間伐等に当てる国補助金が計画より減少
⇒森林整備予算27.7億円計画に対し、R6は22.5億円
- ・間伐の目標面積の設定が過大な可能性がある
⇒間伐を推奨する森林の定義が曖昧
- ・下刈り面積の減少
⇒計画では5回実施を前提としたが、令和5年度以降は省力化・低コスト造林の普及のため、3回実施を推奨。結果、計画より3/5程度の実施面積となった

対応策

- ・目標面積を実態に即した面積へ修正（R9年度中間見直し時）
- ・必要となる補助金額については引き続き国へ要望
- ・森林整備の必要な個所を踏まえ、地域別・作業種（再造林等）別の目安を検討

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

森林づくり指針の各指標の検証 検証結果（造林面積）

森林税

◆ R6 実績406ha/計画520ha（達成率78%）

		設定時		実績値				見込み		
		R3等	R4	R5	R6	R7	R8(要望)	R9		
県内計	計画	277	318	360	520	680	840	1,000		
	実績	277	318	434	406	469	926			
	達成率	100%	100%	121%	78%	69%	110%	0%		
佐久	計画	71	81	89	138	202	256	322		
	実績	82	111	192	147	202	428			
	達成率	116%	137%	217%	106%	100%	167%	0%		
上田	しあわせ計画			39	45	50	55	60		
	実績	34	75	101	79	92	139			
	達成率	91%	175%	208%	113%	100%	123%	0%		
諏訪	しあわせ計画			27	33	40	46	52		
	実績	15	14	11	14	14	25			
	達成率	280%	228%	158%	139%	107%	154%	0%		
上伊那	しあわせ計画			60	74	87	101	114		
	実績	32	22	30	33	13	54			
	達成率	66%	39%	47%	36%	11%	37%	0%		
南信州	計画	50	58	63	94	125	152	181		
	実績	23	38	20	21	49	81			
	達成率	46%	66%	32%	22%	39%	53%	0%		
木曾	計画	10	12	12	20	27	32	38		
	実績	5	4	6	11	2	14			
	達成率	48%	34%	52%	56%	8%	44%	0%		
松本	計画	21	25	26	45	60	86	102		
	実績	57	44	45	47	60	86			
	達成率	267%	179%	175%	104%	99%	100%	0%		
北アルプス	計画	6	7	6	17	20	30	36		
	実績	14	3	1	17	20	30			
	達成率	228%	43%	17%	100%	100%	101%	0%		
長野	しあわせ計画			19	23	27	32	36		
	実績	15	6	25	31	13	45			
	達成率	142%	50%	182%	157%	50%	141%	0%		
北信	計画	16	19	19	31	42	50	59		
	実績	0	1	3	6	4	24			
	達成率	0%	5%	15%	19%	9%	48%	0%		

※計画値（青字）は本庁で設定した目安値であり、地域実態を考慮したものではない

関係者との問題共有に課題
（目標達成に向け行動が不足）

指標内容 277ha(R3実績) → 1,000ha(R9) → 1,250ha(R14)

・民有林の伐採地等に植栽した面積

設定時の根拠

- ・林業経営に適した森林約10万ha（民有林の約15%）を概ね80年サイクルで主伐・再造林することを目指し(1,250ha/年)、段階的に造林面積が増加するように設定
- ・地域振興局別の計画値は作成していない（上田・諏訪・上伊那・長野地域では「しあわせ信州創造プラン3.0地域計画」で計画あり）

R6計画値と実績値の乖離要因

- ・R6は国予算が十分でない中、地域配分バランスを考慮し、要望量の多い佐久地域へ予算を付けきれていないことも一因
- ・主伐以外の施業を優先しても補助金受給が可能であるなど、主伐・再造林のメリットもデメリットも少なく、補助金による施策誘導ができていない ⇒ 全県の機運の高まりが不十分
- ・R8は計画値840haに対し、要望は926haあり、国予算を確保し再造林に優先配分することで計画値達成可能の見込み
- ・苗木や造林従事者の不足は直接的な制限要因では現状ない

対応策

- ・各地域別の目安を検討し、地域毎の取組状況を逐次把握
- ・森林整備予算を再造林へ最優先配分を図る等予算事業のメリハリをつけ、森林所有者や林業事業者への働きかけを強化
- ・省力化・低コスト化を徹底し森林税も含め限りある予算の効率的執行
- ・苗木や造林従事者不足に対する心配に対し、正しい情報を発信するとともに、供給過多の苗木の需給調整を強化

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

森林税

森林づくり指針の各指標の検証

検証結果（多様な林業に関わる新規就業者）

社会経済情勢等の変化に影響

◆ R6 実績25人／計画40人（達成率63%）

		設定時		実績値				見込		
		R3等	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
県内計	計画			40	40	40	40	40		
	実績	36	19	35	25					
	達成率			88%	63%	0%	0%	0%		
佐久	計画									
	実績		4	10	8					
上田	計画									
	実績		3	9	1					
諏訪	計画									
	実績		1	1	0					
上伊那	計画									
	実績		6	2	11					
南信州	計画									
	実績		1	2	1					
木曾	計画									
	実績		0	1	0					
松本	計画									
	実績		0	3	0					
北アルプス	計画									
	実績		0	0	0					
長野	計画									
	実績		1	2	3					
北信	計画									
	実績		3	5	1					

指標内容

36人/年(R3実績) → 40人/年(R9) → 40人/年(R14)

- ・小規模事業者等に雇用された人と創業により林業に新たに参入した人の総数

設定時の根拠

- ・例年、小規模事業者への新規就業者が1/3程度であることを踏まえ、新規就業者数の目標である120人の1/3である40人と設定

R6計画値と実績値の乖離要因

- ・移住、転職者数、地域の事業量の多寡が影響
- ・林業に関心を持つ人が少ない
⇒そもそも林業を知らない、知っていても危険性や専門的分野とのイメージから敬遠される
- ・地域事業者の特性（規模や主事業）を考慮した地域の目指すべき姿が明確にされていない

対応策

- ・ながの森ジョブ・BASE(R7.4開設)をはじめ、HP・SNS・YouTubeを活用した情報発信の強化
- ・信州で暮らす働くフェアや信州就林セミナーなどを通じた新規就業者数の確保
- ・緑の雇用事業や林業労働災害防止対策事業を通じた新規就業者の定着の促進
- ・地域で活動する事業者の特性や事業量を考慮し、地域毎の目標値を検討

令和7年度 第3回県民会議の開催状況

(2) 参考資料「令和7年度みんなで支える森林づくり地域会議の開催状況について」の要約

令和7年度みんなで支える森林づくり地域会議等の開催状況

参考資料1

地域会議で挙げられている主な意見等（抜粋版）

地域会議開催地	回数	開催日	主な内容	概要
佐久	第1回	令和7年 9月 11日 (木)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 等	P3~
	第2回			
上田	第1回	令和7年 9月 29日 (月)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 開かれた里山の整備事業 等	P6~
	第2回			
諏訪	第1回	令和7年 9月 25日 (木)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 等	P33~
	第2回			
上伊那	第1回	令和7年 8月 25日 (月)		-
	第2回			
南信州	第1回	令和7年 10月 27日 (月)		-
	第2回			
木曽	第1回	令和7年 8月 21日 (木)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 等	P36~
	第2回			
松本	第1回	令和7年 9月 17日 (水)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 熟成材採択促進の取組み 等	P41~
	第2回			
北アルプス	第1回	令和7年 7月 31日 (木)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画	P43~
	第2回			
長野	第1回	令和7年 6月 18日 (水)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 県土整備活動の状況について 等	P48~
	第2回			
北信	第1回	令和7年 7月 17日 (木)	令和6年度事業実施報告 令和7年度事業計画 等	-
	第2回			

令和7年度 みんなで支える森林づくり県民会議の開催状況

回数	開催日	主な内容
第1回	令和7年 5月 22日 (木)	森林税活用事業の進捗状況と課題について
第2回	令和7年 9月 5日 (金)	森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について
第3回	令和7年 12月 23日 (火)	長期親森林づくり計画の検証について

<再造林・苗木生産関係>

- 「再造林省力化モデル推進事業」の結果や経費削減が可能となった成果があれば、紹介して欲しい。(佐久)
- 主伐再造林を推進するため「林業経営に適する森林」の所有者に向けた、働きかけやその評価を伝えることも大切。(佐久)
- 省コスト化の推進は必要だが、それだけで目標達成は難しいのではないかと。(上田)
- 県の予算では「森林の若返り促進と安全な里山づくり」の中で再造林が一番大きく、東信では再造林を80haやっているが、木曽ではR7においても実施する町村が木曽町と木祖村のみでこれからということだがなぜか。(木曽)

<県産材利用拡大関係>

- 工務店ではヒノキで家を建てると、後に柱にひびが入ったとクレームが来るので、ヒノキや無垢の柱は使わないようになってしまったと聞く。皆の認識を変える取組が必要では。(木曽)

<担い手の確保>

- 現役の山師の他にも継続的に新しく人を雇用して、育てていくことが中長期的にも大きな課題だと感じている。森林税を活用した担い手育成を支援するような事業を活用させていただきながら様々な事業を計画できれば、地域林業の発展に繋がっていくのでは。(木曽)

<市町村森林整備事業>

- ライフライン等の保全対策は地域の要望が多いため、配分額の増額を望む(諏訪、松本、北アルプス、)

<その他>

- 地域会議等で出た意見については、県もしくは地域会議からどのような回答が出たのか解るように整理するとよいと思う。(長野)
- こういうのをやりました、という実績報告はあっても、今集めています、というのは、非常にわかりにくい。募集をもっとわかりやすくした方がいい。(松本)

森林税活用事業の実績及び予算（県全体）

令和8年度森林税活用事業の予算要求額(案) : 1/2

令和8年度(2026) 森林づくり県民税活用事業一覧表		資料1-2			
		単位:千円			
基本方針における区分	令和7年度実施内容	R8要求額	R7予算額	増減	備考
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		491,264	386,635	104,629	
1 再造林の加速化	・主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援します。 ・自走式下刈り機の導入(レンタル)等の省力化等に係る取組を支援します。 信州の森林づくり事業(人工造林・初期保育の高上げ)	365,664	244,860	120,804	
	再造林省力化モデル推進事業	14,000	12,000	2,000	
	再造林推進シカ捕獲サポート事業	0	2,100	▲ 2,100	
2 防災・減災のための里山整備	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援します。	125,600	141,775	▲ 16,175	
	防災・減災のための里山整備				
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり		145,865	156,186	▲ 10,321	
3 県民が広く親しめる里山づくり	・より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進します。 ・地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援します。	46,647	56,346	▲ 9,699	
	開かれた里山の整備事業	26,434	32,874	▲ 6,440	
	開かれた里山の整備・利用推進事業	20,213	23,472	▲ 3,259	
4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等	・民間施設等の木造・木質化等を支援し、県有施設の木造・木質化等を推進します。 ・小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援します。 ・県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進します。	62,000	62,000	0	
	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	60,000	59,900	100	
	木造・木質化支援事業 木工体験の推進支援	1,500	1,500	0	
	長野県産材CO2 固定量認証	500	600	▲ 100	
5 やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等	・自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を支援します。 ・地域の里山や学校林を活用して行う森林環境教育を支援します。	6,328	6,000	328	()内は再掲分
	信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業	(11,818)	(12,500)	(▲ 1,010)	含む額
	学びと育ちの森づくり推進事業	6,328	6,000	328	県民文化部
6 まちなかの緑・街路樹の整備	・信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援します。 ・街中の緑地保全を推進及び支援します。 ・景観形成のための街路樹の整備・植樹を推進します。	30,890	31,840	▲ 950	再掲(7の内数)
	まちなかの緑地整備事業	3,000	4,000	▲ 1,000	建設部
	まちなかの緑地保全事業等	17,890	17,840	50	建設部
	観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修繕費)	10,000	10,000	0	建設部

令和8年度森林税活用事業の予算要求額(案) : 2/2

令和8年度(2026)森林づくり県民税活用事業一覧表

資料1-2

単位：千円

基本方針における区分	令和7年度実施内容	R8要求額	R7予算額	増減	備考	
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援		53,978	59,022	▲ 5,044		
7 森林サービス産業 など森林の多面的 利用の支援	・健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援します。 ・森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等を行います。 森林サービス産業活動支援事業	36,595	35,964	631		
	森林サービス産業人材育成支援事業等	31,455	30,629	826		
	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証を行います。 地球温暖化防止吸収源対策推進事業（長野県森林CO2吸収評価認証制度）	5,140	5,335	▲ 195		
	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証を行います。 県内で質の高いエコツーリズムを実施できるガイド人材を育成するための研修会を開催します。 信州ネイチャーセンター構築事業	292	290	2		
2,000	2,000	0	環境部			
8 多様な林業の担い手の確保・育成	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援します。 多様な林業の担い手確保育成事業	15,091	20,768	▲ 5,677		
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		242,050	208,780	33,270		
9 ライフライン等 保全対策	市町村が実施する以下の取組を支援します。 ・ライフライン等保全のための支障木等の伐採 ・観光地の魅力向上に向けた森林整備	202,000	166,300	35,700		
11 観光地の景観や 緩衝帯の整備	・野生鳥獣による被害防止のための森林整備 ・病害虫被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等					
12 病害虫被害対策	市町村森林整備支援事業	ライフライン等の保全対策	61,000	40,000	21,000	
		観光地の景観整備	27,000	24,300	2,700	
		緩衝帯の整備	40,000	28,000	12,000	
		森林の病害虫被害対策	74,000	74,000	0	
10 河川沿いの支障木等 伐採	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行った防災効果の高い箇所での除間伐を支援します。 河畔林整備事業	40,050	42,480	▲ 2,430	建設部	
Ⅴ 普及啓発、評価検証		7,971	7,128	843		
13 森林づくりを推進する ための普及啓発、森林 税事業の評価・検証	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等を実施します。 みんなで支える森林づくり推進事業等	7,971	7,128	843		
合計		941,128	817,751	123,377		

上田地域の森林税活用事業実績及び計画 1（再造林の加速化）

再造林（森林の若返り）の加速化（再掲）

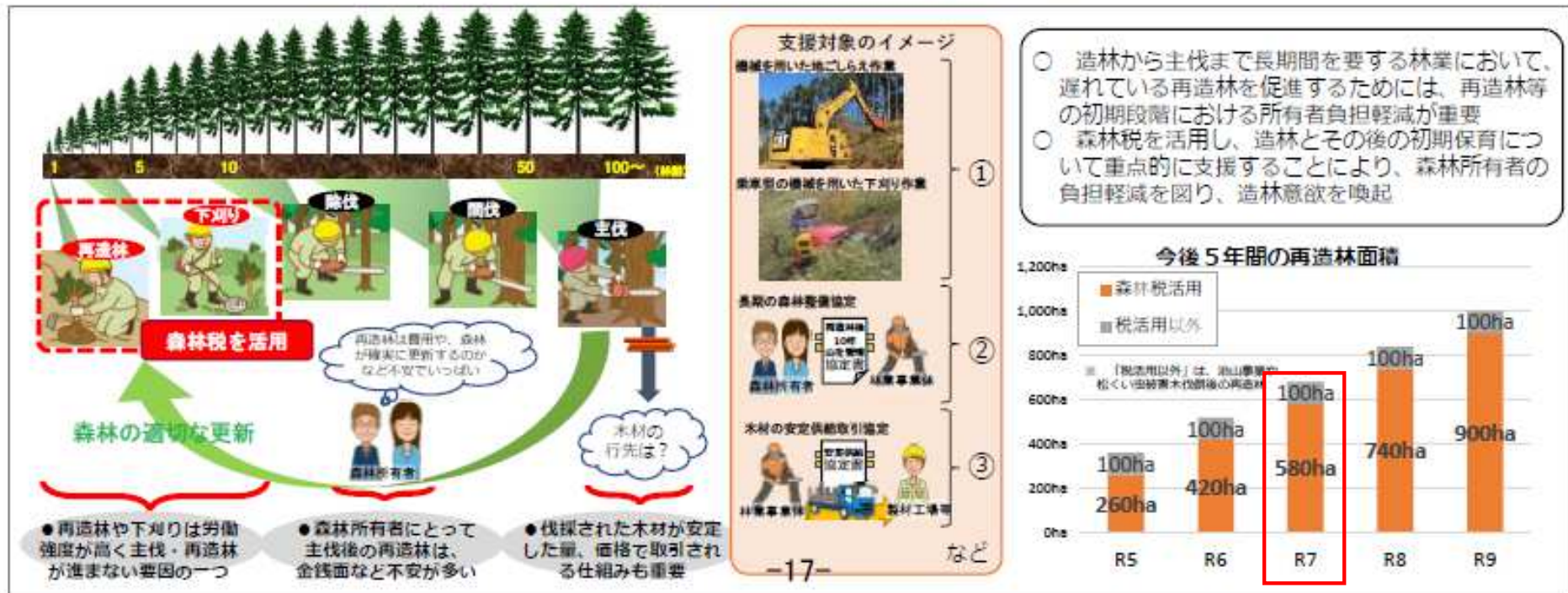
目的：2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO2吸収機能を発揮できるよう、国庫補助事業と森林税を組み合わせる活用することにより、若い森林への更新を加速化

目指す姿：計画的な主伐・再造林により資源の循環利用を行う森林（地形や道路からの距離などの条件から算定した効率的な施業が可能な森林）を約10万haと想定し、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築
→ 当面5年後（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（10年後には年間1,250haへ）

- 長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援。併せて省力化・効率化等の取組を推進
 推進する取組例：①造林の省力化・効率化の推進 ②森林所有者との森林整備協定の締結 ③地域材の安定供給のための取引協定の締結 ④環境配慮の推進（生物多様性に配慮） ⑤獣害対策の推進（捕獲従事者と連携・協力したシカ捕獲の推進など）等
- 森林税を活用し、5年間で概ね2,900haの再造林等を支援

補助率等

補助率：10/10[※]（国庫及び一財 7/10、森林税 3/10） ・ 森林税：11.3億円（5年間） ※標準的な経費に対する補助率



実績 税以外 187ha 168ha
 税活用 247ha 238ha
 計 434ha 406ha

再造林（森林の若返り）の加速化 令和7年度森林税による嵩上げ（実績/計画（R8.2時点））

市町村	事業主体	人工造林 地拵え	人工造林 植栽	下刈	獣害対策 水和剤	計
上田市	上田市東御市 真田共有 財産組合	15 / 17 ha	13 / 18 ha	25 / 25 ha	-	53 / 61 ha
		186 / 307 万円	527 / 762 万円	232 / 230 万円	-	944 / 1,300 万円
	信州上小 森林組合	16 / 26 ha	16 / 16 ha	43 / 34 ha	-	74 / 77ha
		204 / 345 万円	424 / 426 万円	359 / 286 万円	-	987 / 1,057 万円
東御市	信州上小 森林組合	0 / 3 ha	-	-	-	0 / 3 ha
		0 / 26 万円	-	-	-	0 / 26 万円
長和町	信州上小 森林組合	24 / 29 ha	24 / 29 ha	30 / 30 ha	5 / 12 ha	82 / 101 ha
		309 / 349 万円	646 / 776 万円	248 / 246 万円	17 / 42 万円	1,219 / 1,413 万円
青木村	信州上小 森林組合	26 / 27 ha	20 / 20 ha	33 / 35 ha	38 / 20 ha	116 / 103 ha
		254 / 270 万円	584 / 580 万円	282 / 298 万円	128 / 74 万円	1,248 / 1,222 万円
計	2 者	80 / 103 ha	72 / 84 ha	131 / 125 ha	42 / 33 ha	326 / 344 ha
		952 / 1,296 万円	2,180 / 2,545 万円	1,121 / 1,061 万円	144 / 115 万円	4,398 / 5,018 万円

いずれも実績の合計は計画比で約8割以上

※①面積、金額は森林税による嵩上げ分のみを記載、②金額は千円以下四捨五入のため計と合わない、③東御市の森林組合分には祢津沢生産森林組合分を含む

再造林（森林の若返り）の加速化 森林税による嵩上げ実績

信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)	① 県全体	② 上田地域	②/①
令和6年度	目標：420ha	実績：69ha	16%
	予算：17,458万円	実績：3,690万円	21%
令和7年度	目標：580ha	実績(R8.2時点)：72ha	12%
	予算：24,486万円	実績(R8.2時点)：4,398万円	18%



人工造林（地拵え・植栽）上田市上室賀 信州上小森林組合



人工造林（地拵え・植栽）長和町大門宮城 信州上小森林組合

（1）労務の確保

- ・今年度、技能職員を6名採用（上田市の地域おこし協力隊を除く）
- ・新たに協力事業者が加わり、地拵え、植栽、下刈りを実施した。
→R8も引き続き実施

（2）スケジューリング

- ・上田管内の春植え：秋植えの面積は、R6→38:33ha、R7→33:37ha
- ・下刈りに早朝シフトを導入済

（3）苗木の確保

- ・今年度は春植え、秋植えともに苗木を全量確保できた
→来年度分も確保に努める

上田地域の森林税活用事業実績及び計画2（市町村と連携した森林整備支援）

市町村と連携した森林等に関連する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和7年度事業実績見込み)

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	事業量	単位	実施内容
上田市	市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	3,004	1,500	93	m3	被害木の伐倒処理
上田市	下之郷	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	2,084	1,800	128	m3	被害木の伐採・利活用
東御市	栗林	ライフライン等の保全対策	—	1,159	900	30	本	危険木の伐採
東御市	寺坂	ライフライン等の保全対策	—	945	720	20	本	危険木の伐採
長和町	学者村1期	ライフライン等の保全対策	—	1,284	1,145	20	本	危険木の伐採
青木村	当郷地区 当郷第1配水場	ライフライン等の保全対策	—	930	810	22	本	危険木の伐採
青木村	田沢地区 国道143号沿線	ライフライン等の保全対策	—	2,310	2,000	50	本	危険木の伐採
合計				11,716	8,875			

市町村と連携した森林等に関連する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和7年度事業実施状況)

森林の病虫被害対策[枯損木の利活用](上田市下之郷)



ライフライン等の保全整備 (東御市 栗林・寺坂)



市町村と連携した森林等に関連する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和7年度事業実施状況)

ライフライン等の保全対策（長和町 学者村1期）



ライフライン等の保全対策（青木村 当郷地区・田沢地区）



市町村と連携した森林等に関連する課題の解決 (市町村森林整備支援事業 令和8年度計画)

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	事業量	単位	実施内容
上田市	上丸子①	ライフライン等の保全対策	—	3,000	2,700	60	本	危険木の伐採
上田市	上丸子②	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	2,000	1,800	450	m3	松くい被害木の伐採・利活用
上田市	上田市全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	1,500	750	50	m3	松くい被害木の伐倒処理
東御市	中央公園	観光地等の景観整備	—	5,000	4,500	4.3	ha	危険木の伐採 (R8~R9)
東御市	御堂	観光地等の景観整備	—	1,000	900	0.2	ha	景観整備 (R8~R9)
東御市	児玉山	森林の病害虫被害	枯損木利活用	500	450	50	m3	松くい被害木の伐採・利活用 (R8~R9)
東御市	田沢①	ライフライン等の保全対策	—	1,000	900	20	本	危険木の伐採
東御市	西海野	ライフライン等の保全対策	—	1,000	900	20	本	危険木の伐採
東御市	寺坂	ライフライン等の保全対策	—	1,000	900	20	本	危険木の伐採
長和町	学者村①	ライフライン等の保全対策	—	1,000	900	20	本	危険木の伐採
長和町	学者村②	ライフライン等の保全対策	—	750	675	15	本	危険木の伐採
青木村	当郷・村松地区 村道浦野青木線	ライフライン等の保全対策	—	2,500	2,250	70	本	危険木の伐採
青木村	当郷地区 村道岩鼻上管社線	緩衝帯の整備	—	4,000	3,600	1.5	ha	支障木の伐採
合計				24,250	21,225			

上田地域の森林税活用事業実績及び計画 3

森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり
県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）

県民が広く親しめる里山づくり (県民協働による里山整備・利用事業 令和7年度事業実績)

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	実施内容
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業(一般)	511	500	森林環境教育、景観整備等機械レンタル、燃料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事業(一般)	118	75	きのご栽培用ドリル
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト倶楽部	里山整備利用地域活動推進事業(一般)	350	350	里山整備(抵抗性アカマツ植栽、景観整備、竹林整備)実施に必要なチェーンソー、刈払い機の燃料や手袋などの消耗品
	〃	〃	里山資源利活用推進事業(一般)	708	525	チェーンソー、刈払い機など
合計				1,687	1,450	

活動計画（和地区里山整備プロジェクトチーム）



活動計画（和地区里山整備プロジェクトチーム）



活動計画（和地区里山整備プロジェクトチーム）



里山・林内広場を活用しての学習・レクリエーション



安全講習



事業名	実施内容
県民協働による里山整備・利用事業	森林整備等に必要な備品等の購入
里山利活用人材の育成事業	チェーンソーの使い方や安全作業などの講習会
長野県緑の基金 (地域における園庭・裏庭整備モデル事業)	未就学児の森林整備・森林教室など

里山でのお昼

活動計画（鈴子緑のフォレスト倶楽部）



活動計画（鈴子緑のフォレスト倶楽部）

鈴子里山整備利用地域
事業実施図



活動計画（鈴子緑のフォレスト倶楽部）



環境整備



抵抗性アカマツ苗植樹



松くい虫被害予防



サクラ植樹

事業名	実施内容
県民協働による里山整備・利用事業	森林整備等に必要な備品等の購入
上田市 松くい虫対策・緑化木配布	抵抗性アカマツ苗木、松くい虫対策樹幹注入剤、ハナミズキの苗木

県民が広く親しめる里山づくり (県民協働による里山整備・利用事業 令和8年度実施予定)

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	実施内容
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業(一般)	500	500	森林整備安全講習・児童指導講習会の開催、林内学習・レクリエーション活動(カブトムシ飼育、原木きのこ植菌教室)のための消耗品、遊歩道整備のための機材レンタル、保険料、燃料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事業(一般)	100	75	里山整備・利活用に必要な機材(チェーンソー、きのこ植菌用ドリル)の導入
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト倶楽部	里山整備利用地域活動推進事業(一般)	500	500	松茸山復活のための活動(枯損木処理、予防樹幹注入剤、抵抗性アカマツ苗の植樹・保育など)に係る消耗品、燃料、保険料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事業(一般)	667	500	里山整備・利活用に必要な機材(チェーンソー、刈払い機など)の導入
合計				1,767	1,575	

その他（R7におけるPR：関連イベントの開催状況）

関連イベントの開催状況 1 (UE森2025)

- 1 日時：令和7年5月10日（土）9:30～11:30
- 2 場所：上田市菅平高原 上田市東御市真田共有財産組合林
- 3 主催：上田地域振興局、上田市、東御市、長和町、
青木村、東信森林管理署、上小林业振興会、
信州上小森林組合、上小森林認証協議会
- 4 参加：195人※（長野大学の学生・担当教授、一般参加者、
にぎやかな森プロジェクト協定締結企業）
(※：参加申し込みは219人)
- 5 内容：植樹、記念標柱建立
- 6 その他：森林づくり県民税のPRを配布パンフレットで実施

関連イベントの開催状況 1 (UE森2025)



今日は **マジ** 本気で **ガチ** 本物の **もり** 森林づくり

うえもり
UE森 2025

上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い

日時 令和 **7** 年 **5** 月 **10** 日 (土) 9:30~11:30
 場所 上田市菅平高原 上田市東御市真田共有財産組合林
 内容 カラマツの植樹 0.64ヘクタール 約2,000本

主催 UE森実行委員会
 長野県上田地域振興局、東信森林管理署、上田市、東御市、長和町、
 青木村、信州上小森林組合、上小林業振興会、上小森林認証協議会

菅平の天然水とは

今日、参加者の皆さんにお配りした「菅平の天然水」は、菅平高原にある裏ダボスの深井戸(60m)からくみ上げ、加熱殺菌のみ施してペットボトルに詰めたものです。硬度が低い軟水で、口当たりがまろやかなのが特徴。そのまま飲んでもよし、コーヒーやお茶にもよしの、おいしい水です。



防災・減災に、
森林税
正式名称 長野県森林づくり県民税



森林税はみなさんの「日々の暮らしを豊かにすること」に活用されます

①森林の蓄積のため、山に木を植えるとともに今ある森林の一人れを温めます
 ②森林の蓄積や木の活用をしっかりと費用につなぐために
 ③森林・林業に携わる人材を支援、育てて
 ④市町村と協力しファイナンスの健全対策や景観整備等の地域の課題を解決します

長野県森林づくり県民税(森林税) PRポスター

つなぐ木のいのち
NAGANO WOOD PRODUCT

長野県で伐採された木材(長野県産木材)を一部又は全部に使用した商品および販促品に使える新しい「ロゴマーク・キャッチフレーズ」ができました!

関連イベントの開催状況 1 (UE森2025)



関連イベントの開催状況2（にぎやかな森づくりフォーラム2026）

- 1 日時：令和8年2月2日（月）13:20～15:50
- 2 場所：サントミュージゼ小ホール（上田市）
- 3 主催：上田地域振興局、上田市、東御市、
長和町、青木村、上小林業振興会、
信州上小森林組合、上小森林認証協議会
- 4 後援：上小木材協同組合、上小猟友会
- 5 参加：162人（林業関係者、一般参加者、
にぎやかな森プロジェクト協定締結企業）
- 6 内容：別紙のとおり
- 7 その他：森林づくり県民税のPRをパネルで実施

関連イベントの開催状況 2 (にぎやかな森づくりフォーラム2026)

みんなで考える人と野生動物の未来

あつまれ！ にぎやかな 森づくりフォーラム2026



日時 2026年2月2日(月) 13:20~15:50
(開場 13:00)

場所 サントミュージゼ小ホール (上田市天神 3-15-15)

基
調
講
演

シカをマネジメントする

国立研究開発法人森林研究・整備機構
フェロー 小泉 透氏 (右記写真)



クマも棲む信州で暮らすということ ~存在を感じつつ距離を保つ~

NPO法人ピッキオ理事
長野県クマ対策員 玉谷 宏夫氏 (右記写真)



パ
ネ
ル
デ
ィ
ス
カ
ッ
シ
ョ
ン

増えすぎたシカ、出没するクマ ~わたしたちはどう向き合う?~

コーディネーター…小泉 透氏
パネリスト…NPO法人ピッキオ理事 玉谷 宏夫氏
上小獵友会長 橋本 和幸氏
信州ジビエいただきます同盟 小川 大暉氏
長野県林務部鳥獣対策係長 田淵 千春氏

お申し込みは右記二次元コードよりお願いします。
(もしくは下記に記載の電話、メール、FAXで)

申込締切 **令和8年1月23日(金)**



お申し込み・お問合せ先 長野県上田地域振興局林務課 (担当 金子)
電話 0268-25-7137 FAX 0268-27-2245 メール uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

